

U.S. Indicators

米国 貿易戦争前夜の堅調さ(18年5月製造業受注・出荷)

: 2018年7月5日(木)

～鉄鋼・アルミは価格上昇にも支えられ堅調～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	製造業受注 (Manufacturers' Shipments and Orders)											
	出荷				受注				在庫			
	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器		除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器		除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	
17/05	+0.6	+0.2	(+4.6)	+1.4	▲0.8	+0.0	(+5.2)	+0.7	+0.0	+0.0	+0.3	
17/06	▲0.0	+0.1	(+3.6)	▲0.0	+3.6	▲0.0	(+4.3)	▲0.7	+0.2	+0.4	+0.9	
17/07	+0.4	+0.5	(+4.2)	+0.7	▲3.4	+0.9	(+5.5)	+1.2	+0.5	+0.4	+0.4	
17/08	+0.7	+0.9	(+5.2)	+1.4	+1.6	+0.6	(+6.1)	+0.6	+0.5	+0.5	+0.1	
17/09	+1.0	+1.0	(+5.3)	+1.1	+2.9	+1.3	(+7.2)	+5.7	+1.0	+0.7	+0.7	
17/10	+0.7	+1.0	(+6.1)	+0.9	▲1.5	+1.0	(+7.6)	▲1.9	+0.3	+0.5	+0.2	
17/11	+1.6	+1.4	(+8.0)	+0.5	+2.0	+0.9	(+8.5)	▲3.0	+0.4	+0.6	▲0.1	
17/12	+0.4	+0.6	(+5.7)	+0.7	+1.8	+0.9	(+7.2)	+2.8	+0.8	+0.9	+0.7	
18/01	+0.7	+0.6	(+6.2)	▲0.3	▲1.6	+0.3	(+6.6)	▲1.2	+0.3	+0.4	+0.1	
18/02	+0.2	+0.2	(+6.4)	+1.0	+2.0	+0.3	(+6.8)	+1.6	+0.3	+0.3	+0.5	
18/03	+0.7	+0.3	(+7.0)	▲0.7	+1.7	+0.5	(+7.1)	▲1.0	+0.2	+0.3	+0.4	
18/04	+0.1	+0.6	(+7.3)	+0.8	▲0.4	+0.9	(+7.9)	+2.0	+0.4	+0.4	+0.2	
18/05	+0.6	+0.8	(+7.3)	+0.2	+0.4	+0.7	(+8.6)	+0.3	+0.2	+0.1	+0.2	

5月の耐久財受注は前月比+0.4%、除く輸送機器は同+0.7%とともに拡大した

18年5月の製造業受注は、前月比+0.4%（前月同▲0.4%）と増加に転じた。耐久財が減少幅を縮小したうえ、非耐久財が加速した。また、変動の大きい輸送機器を除いた製造業受注は、前月比+0.7%（前月同+0.9%）と小幅鈍化にとどまった。鉄鋼・アルミニウム輸入への関税賦課が実施されたが、5月までは米中による輸出入品に対する関税賦課の対象額が大きくないことから、目立った影響は確認されていない。需要が強いうえ、価格が上昇したこともあり、アルミ・非鉄金属が拡大基調を維持し、鉄鋼ミル、鉄鋼金属鋳物は減少に転じたものの基調として堅調さを維持した。

産業機械、タービン・発電機、コンピューター、軍用通信設備、電子部品が増加に転じ、民間通信機器、軍用航空機、船舶・ボート、非耐久財が加速した

業種別では、鉄鋼製粉、鉄鋼金属鋳物、加工金属、鉱業・石油・ガス掘削機、荷役機械、民生ナビゲーション装置、計測機器・電子医療機器・制御機器、電気照明器具が減少に転じたほか、金属加工機械、自動車は鈍化した。一方、産業機械、タービン・発電機、コンピューター、軍用通信設備、電子部品が増加に転じたうえ、民間通信機器、軍用航空機、船舶・ボート、非耐久財が加速した。また、アルミ・非鉄金属、建設機械、換気、暖房、空調および商業用冷凍装置、家具・関連製品は鈍化したものの高い伸びを維持した。さらに、民間航空機が減少幅を縮小した。

製造業受注の拡大モメンタムは強いまま

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、5月の製造業受注は+9.6%（前月+10.5%）と高い伸びを維持したほか、基調を示す輸送機器を除く製造業受注は+6.9%（前月+6.0%）と加速したように、製造業受注は勢いを強めている。耐久財受注は5月に+14.3%（前月+17.3%）と高い伸びを維持し、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は+9.5%（前月+9.0%）と加速したように、耐久財受注は勢いを強めている。さらに、5月の非耐久財受注は+5.2%（前月+4.1%）と加速した。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

貿易戦争が本格化する前の状況であり、国内需要に加えて、海外需要の拡大を背景に、除く輸送機器は堅調さを維持している。

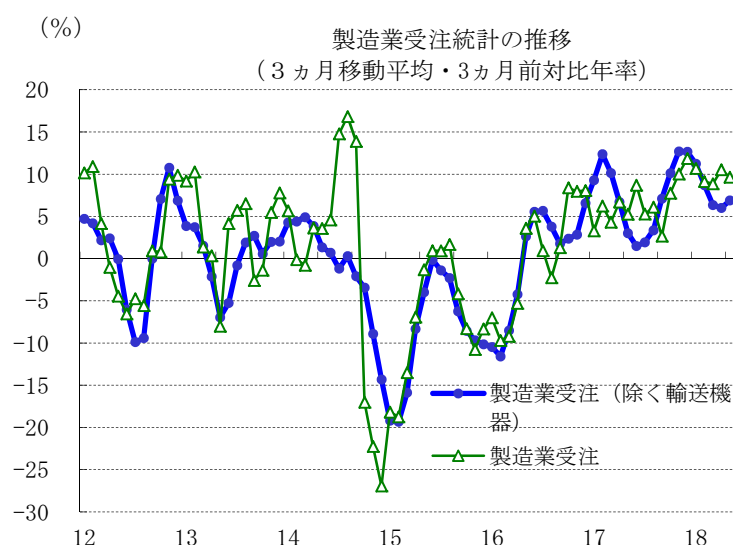
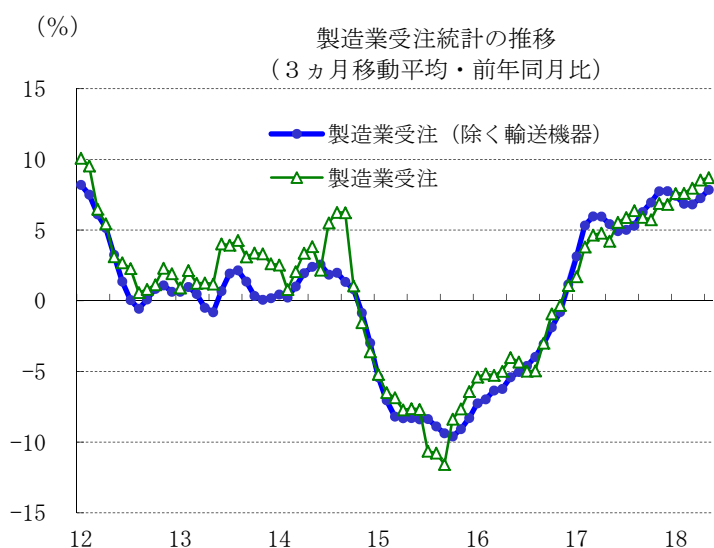
前年比で高い伸びを継続

前年比では、1－5月期の製造業受注は+8.7%（1－4月+8.4%）、輸送機器を除く受注が+7.7%（同+7.3%）と高い伸びを維持した。耐久財が+9.9%（同+9.7）、非耐久財が+7.4%（同+6.9%）とともに高い伸びを維持した。業種別で伸び率の高い順に、船舶が+102.2%（同+109.5%）、民間航空機が+52.3%（同+51.1%）、鉄鋼ミルが+19.3%（+19.6%）、アルミ・非鉄金属が+14.1%（+12.3%）、加工金属が+11.9%（同+11.7%）、コンピューター・電子製品関連が+7.4%（同+6.5%）、一般機械が+6.8%（同+6.6%）、電気機械・同部品が+4.7%（同+4.9%）、自動車・同部品が+3.7%（同+6.9%）、鉄鋼金属鋳物+3.6%（+4.7%）と続いた。一方、軍用航空機は▲18.7%（同▲28.1%）と減少した。

5月の非国防資本財出荷が前月比+0.2%、受注が+0.3%と鈍化した

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が5月に前月比+0.2%（前月同+0.8%）と鈍化した（4、5月合計+0.1%p上方改定）。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+1.6%（前月+3.1%）と鈍化したことから、機械設備投資拡大の勢いは弱まっていると判断される。ただし、4、5月では1－3月期比年率+2.8%（1－3月期前期比年率+2.9%）と、4－6月期の機械設備投資の拡大ペース維持を示している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、5月に前月比+0.3%（前月同+2.0%）と鈍化した（4、5月0.2%p上方改定）。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+4.7%（前月+7.6%）と鈍化したが高伸びを保っており堅調な拡大モメンタムを維持している。さらに、4、5月では、1－3月期比年率+8.6%（1－3月期前期比年率+1.5%）と大幅に加速した。通商政策への不透明感が高まっているものの、輸入代替のための投資も必要となるほか、経営者マインドの改善や企業業績の拡大が続くと予想されることから、18年後半も機械設備投資は拡大を続けると予想される。

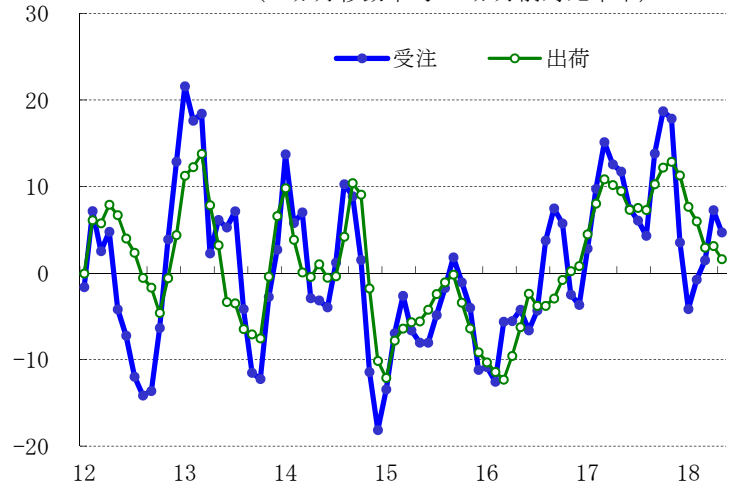


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

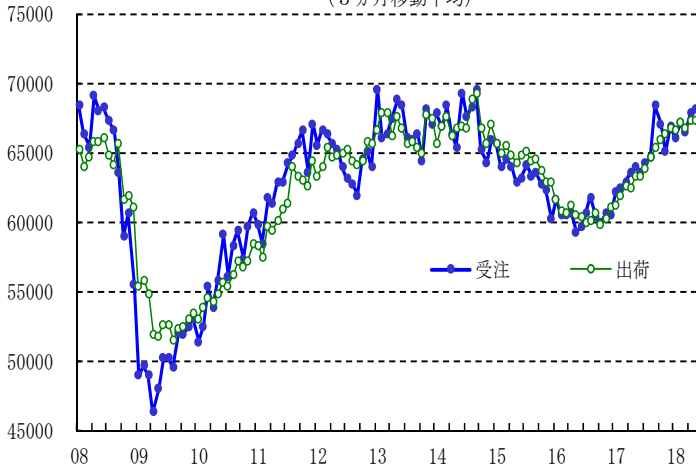
(%) 航空機を除く非国防資本財受注・出荷統計の推移
(3ヵ月移動平均・前年同月比)



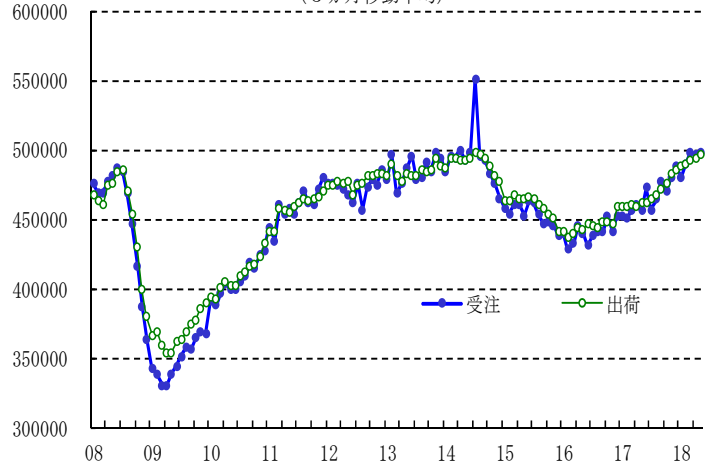
(%) 航空機を除く非国防資本財受注・出荷統計の推移
(3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率)



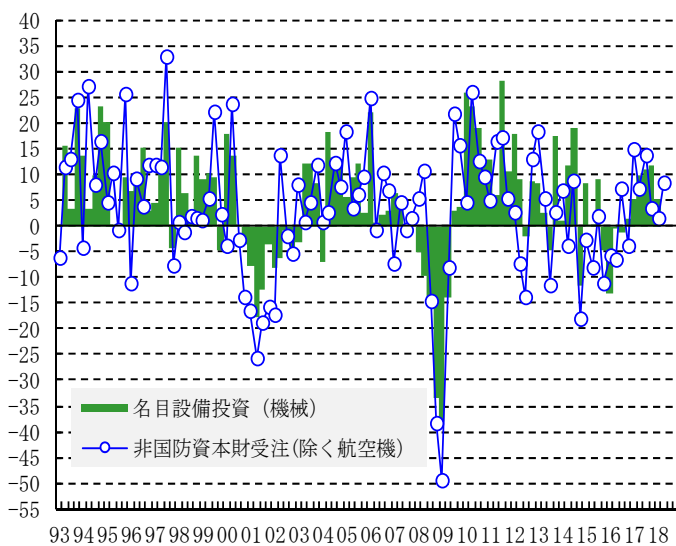
(100万 F_L) 非国防資本財受注・出荷除く航空機の推移
(3ヵ月移動平均)



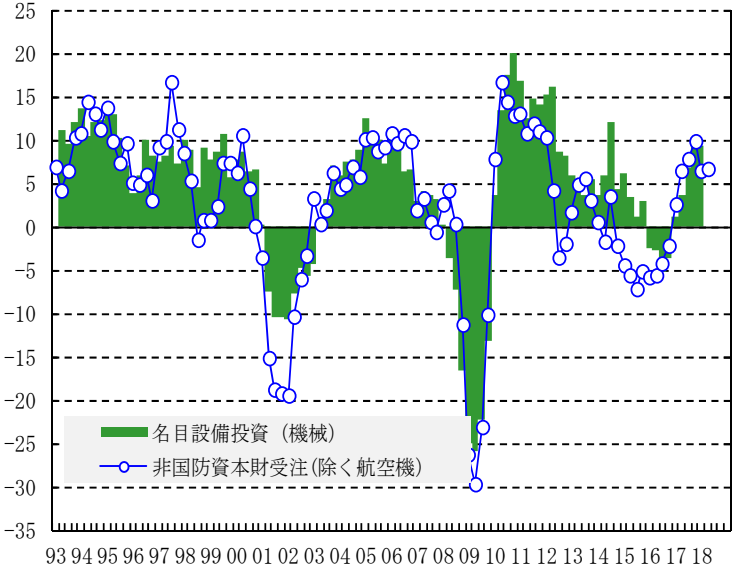
(100万 F_L) 製造業受注・出荷の推移
(3ヵ月移動平均)



(%) (図表) 非国防資本財受注と名目機械設備投資(前期比年率)



(%) (図表) 非国防資本財受注と名目機械設備投資(前年同期比)



(出所) 米商務省データより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。